

ダイオ化成株式会社(単独)

貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	7,119,197	流動負債	1,747,429
現金及び預金	1,023,442	買掛金	663,515
受取手形	420,666	一年以内に返済予定の長期借入金	290,560
売掛金	1,690,371	未払金	512,965
商品	973,967	未払費用	49,743
製品	1,713,749	未払法人税等	91,955
原材料	416,847	未払消費税等	76,437
仕掛品	150,116	預り金	5,525
貯蔵品	43,521	賞与引当金	55,620
前渡金	34,999	その他	1,105
前払費用	22,999		
関係会社短期貸付金	540,540	固定負債	670,510
先物為替予約	38,028	長期借入金	616,860
繰延税金資産	40,012	長期未払金	3,695
その他の	9,974	繰延税金負債	38,255
貸倒引当金	△ 38	その他	11,700
固定資産	4,742,431		
有形固定資産	4,186,461	負債合計	2,417,939
建物	1,791,505	(純資産の部)	
構築物	80,779	株主資本	9,425,525
機械装置	344,852	資本金	300,000
車輜運搬具	2,484	資本剰余金	2,289,805
工具器具備品	40,459	資本準備金	2,289,805
土地	1,923,981	利益剰余金	6,835,720
建設仮勘定	2,400	利益準備金	120,285
無形固定資産	33,664	その他利益剰余金	6,715,434
ソフトウェア	30,946	別途積立金	4,268,900
電話加入権	2,718	特別償却準備金	91,510
投資その他の資産	522,305	繰越利益剰余金	2,355,024
投資有価証券	143,544	評価・換算差額等	18,164
関係会社株式	310,814	その他有価証券評価差額金	18,164
破産更生債権等	6,623		
長期前払費用	21,880		
差入保証金	27,806		
保険積立金	17,505		
その他	755		
貸倒引当金	△ 6,623		
		純資産合計	9,443,689
資産合計	11,861,629	負債・純資産合計	11,861,629

ダイオ化成株式会社(単独)

I. 重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

関係会社株式
移動平均法による原価法によっております。

その他有価証券

時価のあるもの…………… 決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)によっております。

時価のないもの…………… 移動平均法による原価法によっております。

(2) デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法によっております。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

製品及び仕掛品…………… 総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

商品、原材料…………… 主として月別総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法及び貯蔵品
及び貯蔵品 により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産……………

定率法によっております。
但し、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法によっております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
建物 3～34年
機械装置 主として7年

(2) 無形固定資産……………

自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

(3) 長期前払費用……………

均等償却によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金……………

売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金……………

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理
税抜方式を採用しております。

II. 当期純利益金額

当期純利益 542,099千円